

「目的・場面・状況に応じて聞き取る力を高めよう」 ～アドバイスができるように紹介の内容を聞く～

授業づくりの視点

- ・聞いた後に何をすべきか、目的をもって聞くことを日常的に繰り返す。
- ・徐々に指導のステップを少なくしていき、聞いてすぐに話したり書いたりする姿を目指す。

学習の流れ

1. 目的を把握する

2. 紹介の内容を聞く

3. 情報を整理する

4. アドバイスを書く

5. 活用する

1. 目的を把握する

<指導のポイント>

- ☞聞いた後に何をするのか、明確にしてから聞かせる。



Our ALT, Kate, has a brother. Did you know that?

Oh, really? I didn't know that.



His name is Paul. He lives in Sydney. Kate wants to talk about him and wants some advice from you. What does she want to know about? Let's listen to her and write some advice.

(支援例)
生徒の理解を確かめながら発話を行う。

2. 紹介の内容を聞く

<指導のポイント>

- ☞紹介の内容を1回聞き、情報を把握するよう促す。
- ☞(生徒の実態に応じて)明瞭で自然な速度に近い音声を聞かせるようにする。



My brother Paul comes to Japan every year. He likes Japan very much. Last year we went to Tokyo and watched *kabuki*. Paul and I had Japanese food there. We enjoyed Tokyo very much. Now he is in Yamagata. What can we do in Yamagata? Do you have any ideas?

3. 情報を整理する

<指導のポイント>

- ① 紹介の内容を1回聞いた後、「ALTが何を知りたいか」について短い時間で話し合わせる。
- ② 2回目の聞き取りでは、話し合ったことが正しかったかどうかを確認させる。



What does she want to know about? Talk in pairs.

(支援例)

生徒の実態に応じて、教師と生徒のやり取りで考えを引き出す。

(1) ペアやグループで内容を確認する



About Tokyo.

No. About Yamagata.



(支援例)

出てきた意見を板書等で全体に示し、考えを深めさせる。

(2) もう一度聞き取りを行う



Listen to her once again.
What does she want to know about?

(支援例)

英文を途中で区切ったり、ヒントを与えたりしながら聞かせる。

英文を聞いてまずアドバイスを書き、必要に応じて情報を整理するなど、学習3と4の順序を入れ替えることも考えられる。

4. アドバイスを書く

(例) You can visit Mt. Zao. It's beautiful.

<指導のポイント>

- ① 「聞くこと」の力を高める活動であることに留意し、生徒の間違いを修正するだけでなく、教師やALTがアドバイスの内容面についてのコメントなどを行う。

(支援例)

“I enjoy skiing at Mt. Zao.”、“What can you do at Mt. Zao?”などの発話ややり取りなどを通して、アドバイス内容の充実を図るとともに、学習意欲の向上につなげる。

5. 活用する

学んだことを生かして、別の英文を聞き、アドバイスを書く。

(問題例)

英語の授業で、姉妹都市にある学校の、外国の生徒からの音声メッセージを聞くところです。メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

Hello. My name is Nick. We have some club activities in our school. I like playing soccer very much. So I am on the soccer team. Someday I want to visit your school and try some club activities. Which club activities can I try? I'm waiting for your answer. Thank you.